



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社
 コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長兼管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 加藤 明美
 (氏名) 石原 秀樹
 TEL 0766-26-2404

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,409	6.0	582		586		504	
2019年3月期第1四半期	22,087	3.1	1,345		1,165		1,183	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 777百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 925百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	37.81	
2019年3月期第1四半期	88.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	118,999	47,349	39.7	3,542.74
2019年3月期	123,646	48,461	39.2	3,625.99

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 47,301百万円 2019年3月期 48,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		25.00		25.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,000	7.7	200		200		50		3.74
通期	101,000	4.4	2,000		2,000		1,000	38.6	74.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,354,688 株	2019年3月期	13,354,688 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,124 株	2019年3月期	3,104 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,351,569 株	2019年3月期1Q	13,352,126 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

紙パルプ業界を取り巻く環境は、電子媒体へのシフトや少子・高齢化による構造的問題のため今後も一層厳しい情勢が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは、いかなる情勢の変化にも対応し、リスクを吸収できるしなやかな企業グループの基盤を構築するため、中期3ヶ年計画『フォワード304』を策定し、2020年度末に営業利益30億円、ROE 4%の収益基盤の確立に向けて取り組んでおります。安定操業を第一にパルプ事業の強化や新たな紙の価値を創造し、基幹事業である紙パルプ事業の収益基盤強化の取組みを進めています。2017年10月に営業運転を開始したO&Cアイボリーボード株式会社の高板・加工原紙事業の収益基盤強化を図り、当社が得意とする食品容器分野において、脱プラスチックへの時代の流れとともに需要開拓を強力に進め、高効率操業を達成して、早期に収益貢献できる体制の構築に取り組んでおります。また、当社高岡工場内に高機能CNFパイロットプラントの建設を決定(2021年4月稼動予定)し、高付加価値な製品を安定的に生産する体制を整備するとともに、新規事業分野の開拓を積極的に展開してまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、印刷用紙・新聞用紙等の価格復元や安定操業の取組みにより前第1四半期連結累計期間と比較し増収・損失の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	23,409百万円	(前年同四半期比 6.0%増)
連結営業損失	582百万円	(前年同四半期は1,345百万円の連結営業損失)
連結経常損失	586百万円	(前年同四半期は1,165百万円の連結経常損失)
親会社株主に帰属する四半期純損失	504百万円	(前年同四半期は1,183百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売につきましては、販売価格の復元が収益に寄与するも、新聞各社の発行部数の減少と広告減が影響した頁数の減少に歯止めがかからない状況が続いており、数量減が影響し金額も前年を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷用紙の販売につきましては、販売価格の復元が収益に大きく寄与し、数量・金額ともに前年を上回りました。紙媒体から電子媒体へのシフト等により国内需要の頭打ちの状況は続いていることから、東南アジアを中心とした輸出や紙からパルプへの転換は状況を見据えて柔軟に対応してまいります。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、販売価格の復元が収益に寄与し、数量・金額ともに前年を上回りました。国内販売は主力の米麦袋用原紙がフレコン化の影響で減少するも、前年数量を確保しました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙・板紙及び加工品等の販売につきましては、需要が堅調な壁紙等で拡販に取り組んだ結果、数量・金額ともに前年を上回りました。

◎ パルプ

パルプの販売につきましては、パルプ事業の強化に取り組みましたが、当社主力工場である川内工場の停止が前年と比較し長期間であったこともあり、数量・金額とも微減となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	20,567百万円	(前年同四半期比 6.2%増)
連結営業損失	729百万円	(前年同四半期は1,643百万円の連結営業損失)

(発電事業)

発電事業につきましては、安定操業に努め前年並みの売上となりました。しかしながら、当社生産本部二塚製造部において隔年で行っているボイラーの定期検査があったことにより減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	1,644百万円	(前年同四半期比	0.2%増)
連結営業利益	206百万円	(前年同四半期比	31.6%減)

(その他)

当社主力工場である川内工場において回収ボイラーの一部更新工事により定期点検停止が約1.5ヶ月と前年と比較し長期間となったことにより、紙断裁選別包装・運送事業等の紙・パルプ製造事業を補助する「その他事業」につきまして減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	4,592百万円	(前年同四半期比	0.5%増)
連結営業損失	86百万円	(前年同四半期は38百万円の連結営業損失)	

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

現金及び預金が2,469百万円減少したことや、当社工場の定期点検停止による生産減に伴い、商品及び製品が1,740百万円、受取手形及び売掛金が1,173百万円減少したことなどにより、総資産は前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、118,999百万円となりました。

(負債)

当社工場の生産減に伴い支払手形及び買掛金が2,482百万円減少したことや、金融機関からの借入金が1,214百万円減少したことなどにより、負債合計は前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、71,649百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、47,349百万円となりました。これは主として利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失504百万円、剰余金の配当333百万円による減少などにより838百万円減少したことによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末とくらべて0.5ポイント増加し、39.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました「2019年3月期決算短信」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,918	3,449
受取手形及び売掛金	24,156	22,983
商品及び製品	8,751	7,011
仕掛品	541	704
原材料及び貯蔵品	5,593	6,731
その他	2,714	3,588
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	47,672	44,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,030	50,072
減価償却累計額	△32,527	△32,811
建物及び構築物（純額）	17,502	17,260
機械装置及び運搬具	239,172	239,703
減価償却累計額	△207,477	△208,556
機械装置及び運搬具（純額）	31,694	31,147
その他	11,379	11,468
減価償却累計額	△2,925	△2,939
その他（純額）	8,453	8,529
有形固定資産合計	57,650	56,937
無形固定資産		
その他	217	236
無形固定資産合計	217	236
投資その他の資産		
投資有価証券	7,852	7,529
その他	10,359	9,937
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	18,105	17,359
固定資産合計	75,974	74,534
資産合計	123,646	118,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,277	13,795
短期借入金	25,572	25,399
未払法人税等	272	83
賞与引当金	455	173
その他	4,351	4,950
流動負債合計	46,928	44,401
固定負債		
長期借入金	22,835	21,793
関係会社事業損失引当金	53	52
退職給付に係る負債	5,218	5,253
その他	149	148
固定負債合計	28,256	27,247
負債合計	75,185	71,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	13,063	12,225
自己株式	△6	△6
株主資本合計	48,175	47,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	653	365
為替換算調整勘定	△35	△26
退職給付に係る調整累計額	△380	△374
その他の包括利益累計額合計	237	△35
非支配株主持分	48	48
純資産合計	48,461	47,349
負債純資産合計	123,646	118,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	22,087	23,409
売上原価	19,503	20,135
売上総利益	2,584	3,274
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,442	1,300
運搬費	1,323	1,356
保管費	354	383
その他	809	816
販売費及び一般管理費合計	3,930	3,857
営業損失(△)	△1,345	△582
営業外収益		
受取利息	26	24
受取配当金	82	70
為替差益	86	-
持分法による投資利益	27	1
その他	23	31
営業外収益合計	247	128
営業外費用		
支払利息	58	56
為替差損	-	46
その他	8	29
営業外費用合計	66	132
経常損失(△)	△1,165	△586
特別利益		
固定資産売却益	0	50
特別利益合計	0	50
特別損失		
固定資産除却損	192	180
特別退職金	23	3
その他	-	0
特別損失合計	216	184
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,381	△720
法人税、住民税及び事業税	28	18
法人税等調整額	△226	△234
法人税等合計	△198	△215
四半期純損失(△)	△1,183	△504
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,183	△504

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,183	△504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288	△265
退職給付に係る調整額	7	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△13
その他の包括利益合計	257	△272
四半期包括利益	△925	△777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△925	△777
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,568	1,641	20,209	1,878	22,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	791	—	791	2,690	3,482
計	19,360	1,641	21,001	4,568	25,570
セグメント利益 又は損失(△)	△1,643	302	△1,341	△38	△1,379

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△1,341
「その他」の区分の利益	△38
セグメント間取引消去	21
棚卸資産の調整額	7
その他の調整額	5
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,345

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,825	1,644	21,469	1,940	23,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	741	—	741	2,651	3,393
計	20,567	1,644	22,211	4,592	26,803
セグメント利益 又は損失(△)	△729	206	△523	△86	△609

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△523
「その他」の区分の利益	△86
セグメント間取引消去	19
棚卸資産の調整額	3
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△582

(重要な後発事象)

該当事項はありません。